

令和4年第4回

泉南市議会定例会議員提出議案書綴

# 目 次

| 議 案           | 件 名                             | ページ |
|---------------|---------------------------------|-----|
| 議員提出議案<br>第3号 | シルバー人材センターに対する支援を求める意見書について     | 3   |
| 議員提出議案<br>第4号 | 带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書について | 5   |

議員提出議案第3号

シルバー人材センターに対する支援を求める意見書について

上記、議案を別紙のとおり、会議規則第14条第1項の規定により提出する。

令和4年12月7日提出

泉南市議会議長 森 裕文 様

|     |         |         |
|-----|---------|---------|
| 提出者 | 泉南市議会議員 | 河 部 優   |
| 賛成者 | 〃       | 堀 口 和 弘 |
| 〃   | 〃       | 大 森 和 夫 |
| 〃   | 〃       | 澁 谷 昌 子 |
| 〃   | 〃       | 谷 展 和   |

## シルバー人材センターに対する支援を求める意見書（案）

シルバー人材センター（以下、「センター」という。）は、高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき設立された公的団体であり、大阪府内では43カ所のセンターが地域の日常生活に密着した就業機会を提供することなどにより、高齢者の社会参加を促進し、高齢者の生きがいの充実、健康の保持増進、地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減などに貢献している。

令和5年10月に、消費税において適格請求書等保存方式（インボイス制度）が導入される予定となっているが、同制度が導入されると、免税事業者であるセンターの会員はインボイスを発行することができないことから、センターは仕入れ税額控除ができなくなり、新たに預かり消費税分を納税する必要が生じる。

しかし、公益事業を行うセンターの運営は収支相償が原則であり、新たな税負担の財源はない。

人生100年時代を迎え、国を挙げて生涯現役社会の実現が求められる中、報酬よりも社会参加・健康維持に重きを置いた「生きがい就業」をしているセンターの会員に対して、形式的に個人事業者であることをもって、インボイス制度をそのまま適用することは、地域社会に貢献しようと努力している高齢者のやる気、生きがいをそぎ、地域社会の活力低下をもたらすものと懸念される。センターにとっては、新たな税負担はまさに運営上の死活問題である。

消費税制度においては、小規模事業者への配慮として、年間課税売上高が1,000万円以下の事業者は消費税の納税義務が免除されているところであり、少額の収入しかないセンターの会員の手取り額がさらに減少することなく、センターにおいて、安定的な事業運営が可能となるための措置として、「インボイスによらずに一定の事項を記載した帳簿のみの保存で仕入れ税額控除が認められる」等の取扱いを講ずる必要がある。

よって、国においては、センターの会員への配分金については、インボイス制度の適用除外とする等の措置を講ずるよう要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年12月16日

泉南市議会

議員提出議案第4号

带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書について

上記、議案を別紙のとおり、会議規則第14条第1項の規定により提出する。

令和4年12月7日提出

泉南市議会議長 森 裕文 様

|     |         |         |
|-----|---------|---------|
| 提出者 | 泉南市議会議員 | 竹 田 光 良 |
| 賛成者 | 〃       | 谷 展 和   |
| 〃   | 〃       | 河 部 優   |
| 〃   | 〃       | 堀 口 和 弘 |

## 带状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書（案）

带状疱疹は、過去に水痘に罹患した者が、加齢や過労、ストレスなどによる免疫力の低下により、体内に潜伏する带状疱疹ウイルスが再燃し発症するものである。

日本人では、50歳代から発症率が高くなり、80歳までに3人に1人が発症するといわれており、治療が長引くケースや後遺症として痛みなどの症状が残るケースもある。

この带状疱疹の発症予防のために、ワクチンが有効とされているが、費用が高額になることから接種を諦める高齢者も少なくない。

带状疱疹による神経の損傷によって、その後も痛みが続く「带状疱疹後神経痛」と呼ばれる合併症に加え、角膜炎、顔面神経麻痺、難聴などを引き起こし、目や耳に障害が残ることもあるともいわれている。

よって、政府に対して、一定の年齢以上の国民に対するワクチンの有効性等を早急に確認し、带状疱疹ワクチンの助成制度の創設や予防接種法に基づく定期接種化を強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和4年12月16日

泉南市議会